

県内の広範囲で葉いもちの増加が予測されます！

今後いもち病の発生に注意し、適期防除に努めて下さい！

[現在の発生状況]

- ① 7月上旬現在、いもち病の発生地点率（本年値 39%，平年値 41%）、発病度¹⁾（本年値 2.6，平年値 3.8）ともに平年並であるが（表 1）、県央地域及び県南地域の一部で発病度の高い圃場が認められる。また、県予察圃（水戸市）ではいもち病の発病度が平年より高い（本年値 16.5，平年値 2.8）。
- ② BLASTAM（ブラスタム）²⁾ を用いていもち病の感染好適条件出現日を判定したところ、7月1日以降、県内 14 か所におけるいもち病感染好適条件の総出現日数は平年より多い（本年 31 日，平年 12 日）。特に、7月4日～8日に感染好適条件が県内の広範囲な地点で認められており、本病の常発地だけでなく、県内の広範囲において増加が懸念される（表 2）。
- ③ 気象予報（7月10日発表）によると、向こう1ヶ月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想され、葉いもちの発生を助長する条件である。

1) 発病度：病斑をもとに算出した数値、最小値は0で最大値は100となる。

2) BLASTAM（ブラスタム）：アメダスデータ4要素（気温、降水量、風速、日照）から感染に必要な葉面の濡れ時間を推定し、その日がいもち病の感染に好適であったか否かを判定するプログラムである。葉いもちが増加するのは、BLASTAMで感染好適条件となった7～10日後と考えられる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 窒素過多はいもち病の発生を助長するため、適正施肥に努める。
- ② 葉いもちの発生を認めたら1週間以内に薬剤散布を行う。
- ③ 特に、上位葉に発病がみられるほ場では、出穂期に降雨があると穂いもちへの移行が懸念されるため、防除を徹底する。
- ④ 防除薬剤は表 3 を参考にする。ただし、粒剤及びジャンボ剤は効果が現れるまで時間がかかるため、使用時期に注意して散布する。また、湛水状態で使用するとともに、散布後1週間はかけ流しや落水をしない。
- ⑤ 穂いもちの防除を目的に薬剤散布を行う場合は、剤によって使用時期が異なるのでラベルをよく確認して使用する。

表1 調査地点における葉いもちの発生状況（7/2～7/9調査）

地域	調査地点数	発生地点率（％）		発病度 ¹⁾	
		本年	平年 ²⁾	本年	平年 ²⁾
県北	8	25	45	1.0	4.0
県央	15	60	66	4.7	7.1
鹿行	6	67	37	1.8	2.6
県南	19	26	32	2.7	2.4
県西	9	22	20	1.0	1.4
全県	57	39	41	2.6	3.8

1) 発病度：病斑をもとに算出した数値，最小値は0で最大値は100となる。

2) 平年：過去10年（平成16年～平成25年）の平均値。

表2 BLASTAM(ブラスタム)による葉いもち感染好適条件判定結果

地点※		7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
県北	北茨城				●					
	大子								●	
	高萩				●	●			●	
	日立				●	●			●	
	常陸大宮					●		●	●	
県央	水戸				●			●	●	
	笠間					●		●	●	
鹿行	鉾田					●		●	●	
	鹿嶋							●	●	
県南	土浦					●		●		
	龍ヶ崎				●			●		
	つくば				●	●		●		
県西	下館									
	下妻							●		
	古河							●		

●：好適条件（葉いもちに最も感染しやすい条件。すなわち，①湿潤時間中の平均気温が15～25℃であり，②湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし，③当日を含めその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある，という気象条件。）

※ 県内の全アメダス地点で，平成23年から設置されている「高萩」も含める。

表3 稲のいもち病に使用できる主な薬剤（平成26年7月1日現在）

薬剤名	使用量(10aあたり) または希釈倍数	剤の 使用回数	有効成分名
オリゼメート粒剤	3～4kg	2回以内	プロベナゾール
キタジンP粒剤	3～5kg	2回以内	IBP
コラトップジャンボP	小包装(パック)10～13個 (500～650g)	2回以内	ピロキロン
フジワン粒剤	3～5kg	2回以内	イソプロチオラン
ルーチン粒剤	1kg	2回以内	イソチアニル
アミスターエイト	1,000～1,500倍	3回以内	アズキシストロビン
ダブルカットフロアブル	1,000倍	2回以内	カスガマイシン トリシクラゾール
ノンブラスフロアブル	1,000倍	2回以内	トリシクラゾール フェリムゾン
ブラシンフロアブル	1,000倍	2回以内	フェリムゾン フサライド

注) 「散布」，「湛水散布」または「投げ入れ」で使用できる剤を掲載した。